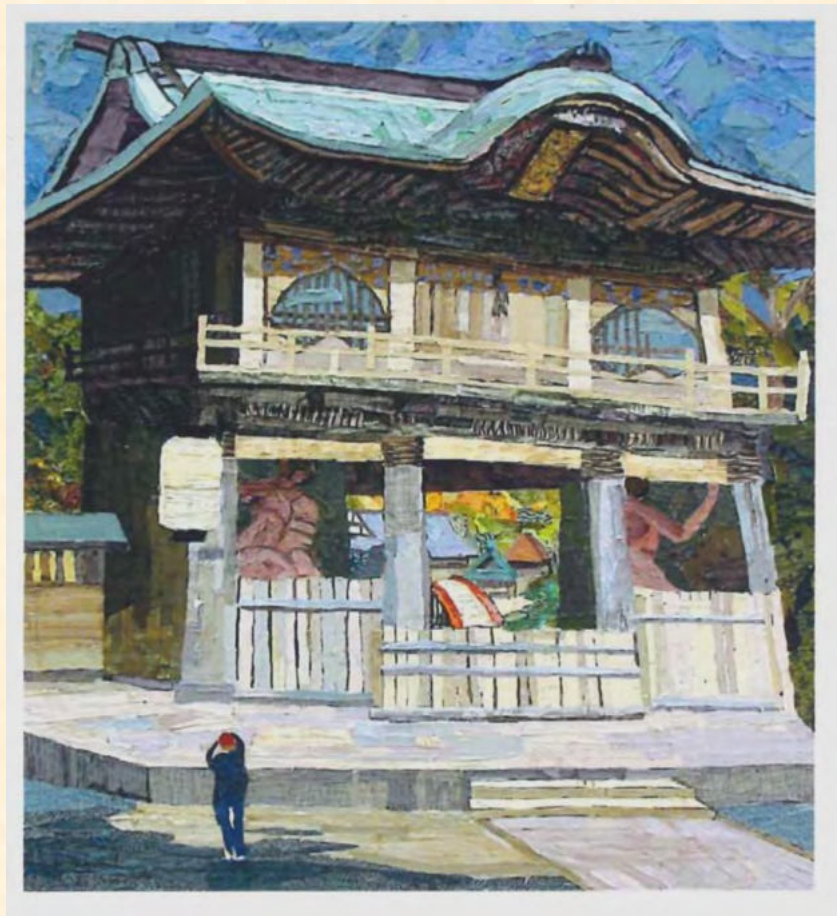


西紫団地

福寿会

五十周年記念誌

昭和48年～令和4年



「稱名寺仁王門」 下村 清則 作

令和5年1月28日発行

目次

一、	会長あいさつ	西柴団地福寿会	会長 太田益子	1ページ
二、	祝辞	金沢区シニアクラブ連合会 西柴団地自治会	会長 森川 年一様 会長 山田 佳一様	2ページ
三、	思い出を語る		日野 トヨ さん 横山 一男 さん	3ページ
四、	西柴団地福寿会 五十年の歩み			4ページ
五、	同好会及び最近の活動			5ページ
六、	思い出の写真集			6～7ページ
七、	福寿会の未来を語る座談会			8～12ページ
八、	友愛委員の活動			
九、	福寿会音頭			13ページ



あいさつ

西柴団地福寿会会長 太田 益子

一九七三年（昭和四十八年）に西柴団地福寿会が設立され、本年五十周年を迎えることが出来ました。横浜市老人クラブ連合会の指針である「健康・友愛・奉仕」のもと、様々な活動に精励された諸先輩の方々に心より敬意を表したいと存じます。

「全国一斉清掃の日」には公園の清掃を、また地域の活動には積極的に参加して仲間作りをされたと聞いております。二泊三日のバス旅行・グラウンドゴルフ・小中学校での花壇の手入れなど活動は広範囲に亘りました。近年コロナ感染拡大防止の影響が大きく、目玉である定例会での軽食など制限されておりますが、ボッチャなど世代交流にも楽しみを見つけております。

これからは長寿化がより進み、人生百歳時代の到来と言われておりますが、心身ともに健康であってこそその長寿です。今以上に福祉が重要になり、福寿会の役割も多様化するものと思われます。団塊世代の若い会員の入会を促進し、幅広い会員による福寿会として皆さんと共に課題に取り組み、成長していければと願っております。



祝辞 シニアクラブ 西柴団地福寿会 様

金沢区シニアクラブ連合会 会長 森川 年一

シニアクラブ設立五十周年ご苦労さま、そしておめでとうございます。

金沢区シニアクラブ連合会も今年度六十周年を迎えます。単位クラブとしての様々な活動を進める中、区シ連活動にもご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

半世紀もの間クラブ活動が継続されたことは、まずもってひとつのつながりが出来たということ、必要とされる方々がおられ、クラブ運営に参画されたことにつきます。皆で永きに渡り引継ぎ、発展されたことに敬意を表します。

さて設立年度1973年(昭和48年)は、経済面では第一次オイルショック・狂乱物価・円変動相場制、政治面では田中改造内閣発足、国際面では江崎玲於奈ノーベル物理学賞と、経済を中心にまさに日本の発展段階を迎えていました。その後数々の出来事を経て現在に至っています。シニアの望みは充実した一生をおくるところと思っておりますが、昨今シニアへの話題は平均寿命や健康面中心であり、違和感を感じることがあります。

現在のシニアクラブ担い手の多くが、シニアクラブ設立時期は現役であった方々です。ぜひ色々と活動を模索し、仲間と充実した人生を送り、次世代に引き継がれることをお願いしお祝いのご挨拶とさせていただきます。

福寿会五十周年によせて

西柴団地自治会 会長 山田 佳一

福寿会発足五十周年おめでとうございます。西柴団地自治会が発足して五十一年ですので、その1年後には会を起こした発足当時の先達の方たちの行動力と、以来途切れることなく現在に至るまで継続されてこられた方たちの努力に敬意を表します。

現在の西柴団地自治会の活動は、福寿会の皆様が自治会活動をされ、作ってこられたものを道として歩んでいると言えます。作られてきたものを尊重することと、将来へ向けて少しでも良くしていく努力をすることが現在の自治会として求められるものと覚悟をしております。

よき先輩である福寿会の皆様の今後の活動を応援するとともに、文字通り、福と寿にあふれた会として活動していけることを祈念いたします。



思い出を語る

日野 トヨさん 大正九年十二月十二日生

福寿会五十週年おめでとうございませう

平成のはじめの頃に合して旅行等々々に運んで行きたいと思

友達も出来て楽しい思い出を沢山思い出して頂きたい

またブランドゴルフがはじまりですに入会して頂きたい

週二回の無理のない運動で面白く随分永く続けました、永く続

にはいさくなくなつたのでゴルフインフンになつたといふ

かつたが杖をつかなくと歩けなくなり止めました

この頃は福寿会の時空内でも出来たボウチヤートと云ふボウチ

始めて下さり赤と青と水色三入組で競合、より

なかく思ふ様には玉がころがりませんが、果てはボウチ

皆さんの助けかりてなんとか出来て居ります

会長様とはいふお世話下さる皆様のおかげで楽しい一時を過す

て頂いて居ります、感謝です

福寿会がますます栄えりく続くと願ひ居ります

横山 一男さん 大正十三年六月五日生

私も遂に百才(100才)となりました

今まで健康で今日まで来たのは、

オオ、多くの人々の暖かい援助のおかげでサリ

ハッとお礼申します

ありがとうございます

我が人オオを振り返ると

今でも「疾すミ」なくては話してきない

《特攻隊 母上バツガイ》「天皇陛下ハミナシ」

整備兵に最後の別れをツケマ

よくぞ今日までこゝろで元氣に來れた!

生まれたのは信州長野市(善光寺のカネの首)

座光島泉の川内中学に5年通学、その後

横浜国大工学部↓日産自動車社

に勤務、終了

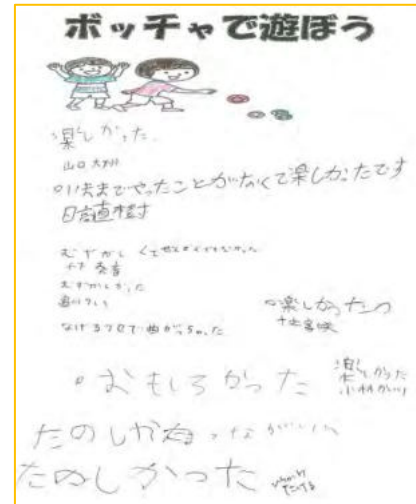
西柴団地福寿会福寿会 50 年の歩み

年	福寿会の歩み
1962	公益財団法人 全国老人クラブ連合会設立
1963	老人福祉法制定
	横浜市老人クラブ連絡会設立 後に横浜市老人クラブ連合会となる
	金沢区老人クラブ連合会結成
1973	西柴団地福寿会結成 初代会長に 川名進一氏が就任
	全国老人クラブ社会奉仕の日制定 (市老連、単位クラブ一斉清掃)
1981	会長に千代倉忠雄氏が就任
	朝の体操始まる 午前6時30分より
	バス旅行 春 秋 年2回(2泊3日の旅)
1985	会長に日野孝介氏就任
	金沢区お年寄り趣味の作品展出展
	寂しさグットバイ、お年寄りサロン立ち上げ(金沢東部)
1991	会長に天野泰治氏就任
	西柴小学校敬老の会 交流給食と交歓会
	西柴団地自治会敬老祝賀会
1995	会長に永島正氏就任
	講演会「脳卒中、パーキンソン病」横浜市立大学脳神経科教授 黒岩義之先生
	民謡踊り同好会立ち上げ
1999	会長に大島茂次氏就任
	講演会「生活習慣病と予防」横浜市立大学第2内科教授 梅村 敏先生
2001	会長に宮川利三郎氏就任
	グラウンドゴルフ同好会立ち上げ
	地域交流「健康体操」日本女子大学講師 鈴木富貴子先生
	グラウンドゴルフ大会出場
2008	会長に河村登紀子氏就任 (転居により 西澤勲氏会長代行)
	福寿会音頭制作
2011	会長に藤本啓治氏就任
	称名寺にて桜花見始める
	健康マージャン同好会立ち上げ
2013	会長に太田益子氏就任
	講演会「太田道灌」講師 太田道灌 18 代子孫 太田資暁氏
	金沢区清掃局「分別ゴミの出し方」
	京急メモリアルホール「終活、遺品整理」
	新型コロナ感染症の為定例会の軽食中止
	絵手紙通信 (年4回)
	世代交流「ボツチャで遊ぼう」
	世代交流「クリーン大作戦」子供とゴミ拾い
2023	文庫幼稚園にて50周年記念式典

最近の活動

ボッチャ 世代間交流

イタリア発祥のスポーツ『ボッチャ』は東京パラリンピックでの日本選手の活躍で、障がい者スポーツの枠を超えて高齢者層にも人気スポーツとなりました。福寿会では昨年初めに定例会でのお楽しみに導入し、地域の多世代交流にも役立ちたいと取り組んでいます。



健康麻雀同好会

『チー』『ポン』『リーチ』『ロン』賑やかな声をあげるメンバーたち

十年ほど前に発足した麻雀同好会は自治会館の二階で毎週木曜日に集まり、『賭けない』『飲まない』『吸わない』の三原則で健康麻雀を楽しんでおります。初心者だった方もベテランの胸を借りて上達し、みんな互角に勝負、勝敗は時の運です。

グランドゴルフ同好会

バシ！と遠くのホールポスト目がけて思い切り打つと、ボールはごろごろころと勢いよく転がって チャリン。入った入ったよ～ホールインワンだ！仲間の賞賛の声が聞こえる。

やった！どんなもんだ、と心の中で叫ぶ。この誇らしげな気分。

思い切りボールを叩いた爽快感、狙った通りに転がって、ゴルフではやった事のないホールインワンが出た時の嬉しさ。こんな気分を楽しむようにボールを打っています。

また途中の休憩時に皆さんと地域の情報交換や雑談するのも楽しみです。

こうして1日3000歩位歩いていれば健康にも良いだろうと思っています。



平成 20 年10月
伊豆温泉旅行

写真集

平成 25 年10月
金沢区シニア連「演芸の集い」
“八景慕情”をハーモニカクラブと
コラボする



平成 22 年10月
伊豆稲取旅行
稲取随一の銀水荘に宿泊



平成 27 年
講演会「太田道灌」18代目当主太田資暁氏^{すけあき}
「七重八重花は咲けども山吹の
実のひとつだになきぞ悲しき」



平成 24 年10月
新年会
98 名の出席者と新年を祝う



平成 29 年

大磯郷土資料館「旧吉田茂邸」見学後

大磯迎賓館にて



令和元年

国指定名勝「旧古河庭園」

1919年古河家3代目古河虎之助により

建てられた本格的洋館



令和元年

徳川3代将軍家光公の命により建造され

近年、再現された御座船「安宅丸」で東京湾遊覧



思い出の

平成 28 年

称名寺にてお花見

楽しい一時を過ごす



平成 28 年 9 月

ロイヤルウイングに乗船

みなとみらい、横浜港、バイブリッジ

本牧埠頭をめぐる



西柴団地福寿会の未来を語る座談会



司会…福寿会が創立五十周年を迎えるにあたり、簡易な記念誌を作成することになり、今回出席の太田会長以下6名が編集委員を務めることになりました。本日は外部の方にも参加願ひ、福寿会の近未来の在り方について語り合う座談会を企画いたしました。開会に当たり太田会長からご挨拶申し上げます。

太田…五十周年記念誌の記事作成にあたり山田会長、阿部さんにも出席いただき座談会を開催致しました。内部のメンバーだけでは分かりにくい、外部から見たご意見もいただきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。

司会…私は今回の座長を務めます1プロジェクト幹事の早川です。会歴はこれの中で最も長く平成17年に入会し17年余になります。最近幹事を頼まれ多少運営にも携わっております。

本題に入る前に本日の座談会の目的と、老人会を取り巻く環境や課題につき確認をしておきたいと思ひます。日本の老人会の起源は平安時代の尚齒会に遡る

そうですが、全国老人クラブ連合会が来たのは昭和37年、従つて今年が創立六十周年になります。翌38年には老人福祉法が成立し財政的裏付けにより発展してきました。老人会発足当時掲げた健康・友愛・奉仕の3つの目標は現在も踏襲されております。発足当時の高齢者人口は560万人、高齢化比率は6.3%、平均寿命は約68歳。現在では約364万人、平均寿命は約85歳、高齢化比率は何と29%強、75歳以上の人口に至つては約10倍になっています。今日から見ると昭和37年頃の高齢者は比較的若く、元気なご隠居的存在だったと言えます。この階層を更に元気にし、社会に役立つ存在にすることが目的だったと思われまふ。60年後の今日、超高齢化により元氣でない老人層が急激に増加し、福祉的な要請が高まることにより老人会活動も難しさを加えて来ております。

ご意見を出していただきたいと思ひます。それでは上部団体の金沢区シ連の副会長も務めており、他地域の状況にも詳しい太田さんから先ず発言をお願いいたします。

近年全国的に老人会活動の参加者が減少傾向にあり活動力も低下、更には役員の引き受け手が無い為に組織自体消滅の危機に瀕する地域もあるようです。従つてその辺を踏まえて福寿会の活動を将来的にどうすべきなのか、皆さんに活発な

太田…福寿会の会長を10年やっており大分疲れも出て来ております。老人会の状況は会長のなり手がなく10年、20年と会長をやっている方がさらにいます。老人会に入りたくても地区老人会が無い地域も出てきております。その人達を区シ連や市老連で直接個人会員として受け入れる動きもあります。また現在はIT時代の狭間にあり非常にやり難い場面があります。今の区シ連会長は若い、市老連に出ても最も若い。ホームページを作ろう、連絡はパソコンでとの方向で進むと、高齢の会長は引退に迫り込まれる懸念があり、難しい時期に来ております。西柴福寿会の平均年齢は84歳定例会参加の会員も殆ど80歳代、若い人達にも会員になっていただきましたが、今の定例会や行事にはさらさら参加する気がない。でも将来に向け活動を存続させるためには若い力が欲しい。福寿会以外の方々のご意見を是非お聞きしたいと思

（開催日） 令和4年11月10日

（出席者） あいうえお順）

阿部 茂男（さくら茶屋事務局長）

石井 邦子（福寿会会長）

太田 益子（福寿会会長）

近藤 芳雄（福寿会会計）

下村 清則（福寿会副会長）

成澤 敏子（福寿会副会長）

山田 佳一（西柴団地自治会会長）

（司会進行）

早川 守正（福寿会幹事）

（敬称略）

います。

司会…文化面の牽引役をお努めの下村さんどうぞ

下村…副会長の下村です。入会以来会合での歌や民謡のリード役や幹事を長年やり、5年前から副会長をやっております。定年後、絵を中心にした人生設計を描き、仲間を集めて教室を作り指導をしてきました。福寿会に入会したら、楽しく会をやっていくにはどうしたら良いかと悩んでいましたので、歌を唄ったり花見を提案したりと、盛り上げ係的なことをずつとしてきました。只今会期中の“趣味の作品展”も17年前から係をやっております。80歳を超し若手に譲りたいのですが定年が延びたせいもあり、我々が未だに一番若手で若い人が入会してこないのが悩みです。

司会…新任早々自治会の様々な部会に顔を出し、勉強され助言もされるなど意欲的に活躍されている山田さんに、大所高所からのご意見をいただきたいと思っております。

山田…5月の総会で自治会長になりました山田です。組長やブロック長の経験はありますが、会長をやるにはまだ知識不

足だと思えます。ただお任せいただいたからには一生懸命勉強し、考えて自治会を良くしていきたいし、住民の方々が住んで良かったと思っていただけるように考えて決め事をしております。福寿会の存在は知っていましたが深くは関わって来なかったもので、今日この席で皆さんの話を聞いて理解を深めたいと思っています。座談会の出席を要請されて、私も老人会の現状や今後の方向性につき調べてみました。自治会でもそうなのですが、歳をとるに従い活動量が落ちるのは否めないことで、その中で活動を回していくのは難しい事だと思えます。想像するのですが前に進めようとする人たちがいます。一方言い方は悪いですが只ぶら下がつている人達もいます。福祉の切り口で言うと助けられる側の人も結構いると思えます。助ける側、助けられる側の比率は年々変わるのでしょうが、助けられる側を見捨ててはいけない、誰かが手を差し伸べなくてはいけません。その時に自治会が力を出すと一言一面もあるのでしようが、あちこちの老人会の活動を見ると老人会の中で助ける人達を作っているようですね。手を差し伸べて“ありがと

う”助かった“と言われることがエネルギーとなり、その人の今後の生き方を支えていくといったことも多々あるようで、ある意味ボランティアの世界ですね。老人会の中にはそう言った切り口がありますね。もう一方では絵を描いたり歌を唄ったり、詩歌、お茶や旅行と言った楽しみの世界があると思うのです。今までも連携してきたのですが、その横共有をエネルギーとして活動すること考えられるのかなと思います。

司会…さくら茶屋で高齢者や子供の居場所作りに携わって13年、地域の課題に最も見識をお持ちの阿部さんのお考えを伺います。

阿部…東京への転勤を機会に地の利がある西柴に定住し、60歳で定年退職した頃に、岡本さん等が主催する『西柴団地を愛する会』のアンケートに答えたことが縁で、以来13年間さくら茶屋の事務局長を務めてきました。まだ会社勤めの頃に自治会の行事部員をやり、活動が活発な地域との印象を持ちました。福寿会の活動全体は理解しておりませんが、この街には高齢化問題を始め課題が多いと思っています。地域が高齢化する中で各

世代がそれぞれに固まるのではなく、多世代が交流して町を作っていくことが重要だと思えます。その中で高齢者の役割も出てくるし子供の影響もあるから、そうした社会をどう作り上げていくかが重要だと思います。今一つ大切なことは生涯現役ですね。高齢化してもやれることはやる、若い人だって障害があつてやれない人もいる、だから単純に年齢ではなく生涯現役で皆さんに頑張っていたたく。さくら茶屋も何かやっている人の方が元気です。健康です。だから健康づくりをするのであれば何かやる、歳をとったら退役をするのではなく、それなりに影響力を高めていくことがこれからは重要だと思えますね。

司会…今年は区シ連のカラオケ、グランドゴルフ両大会で大活躍された会計の近藤さんどうぞ

近藤…ピンチヒッターで会計を引き受け4年になる3ブロックの近藤です。居心地が良いのか長くやっております。(笑)私のモットーですが地域住民として大切なことは、組織に拘らず隣近所と仲良くすること。そうすると会話が增える。挨拶は必ず自分から言う、その心掛けが融

和に繋がります。どちらでも老人会会員の減少に悩んでおりその解決策は難しいが、行事などに隣近所誘い合わせて参加する、そうした雰囲気作りが出来たら良いかなあと思っています。

山田会長は何事にも積極的で、今年のラジオ体操には今までの方と異なり皆勤でしたよね（笑）我々は偶々五十周年の節目に立ち会ったわけですが、話し合うことでいろんな意見が出るのは楽しいですね。こうした雰囲気 שהוא 他でも持てたら良いですね

司会…ユニークな発想と大胆な発言で記念誌の纏めを担当されることになりました石井さんどうぞ

石井…2ブロックの石井です。太田さんから突然記念誌の編集に関われとの話がありました。歌も歌えば作品も作る、歳の割には楽しんで生活しております。皆さんの話のように老人と若い者とが分かれていますかと思うのですが、今の小中学校では知らない人に声を掛けられたら、「黙って逃げる」と教育をされている。かわいい子供に声をかけるとすっと逃げられてしまう。社会情勢で止むを得ない面もありますが、私は最低限お互い

目が合ったら挨拶をするようにしております。福寿会でポッチャをやっておりますが、子供達も凄く喜んでいて、あのようない行事ができるなんて素敵ですね。歳に関係なく楽しくやっていく雰囲気を作るように努力をしたいと思っています。

司会…最後に太田会長の雑務を支えて活躍の成澤さんのご意見をどうぞ

成澤…副会長をやっております2ブロックの成澤です。少しでも太田会長のお役に立てればと考えてやっております。残念ですが毎月のお知らせの手紙が最後まで読まれていない。小さなことでもお互い口頭でお誘い合いすることも大切だと思います。

司会…これで全員に発言を頂きました。内容が地域の課題全般に広がりましたが、これからは福寿会の活性化に絞ったフリートークキングをお願いします。

太田…先程の世代交流ですが、夏頃から子供達とポッチャを始め、今月23日には東部社協、青少年指導員と共催でクリーン大作戦（ゴミ拾い）を行います。飛行機飛ばしとか焼き芋など、子供も年寄りも喜ぶことはこれからも続けます。助ける側、助けられる側の件ですが、各単

位老人会に友愛委員が5人おります。

活動の幅は狭いですが、お互いに助け合いの活動をしております。また、福寿会は毎月会員にお便りを出していますが、なかなか読んでもらえないのが悩みです。一番有効なのが口コミです。現在の

定例会は80歳台に焦点をあてています。これじゃ若い人は来ませんよね。どうすべきか悩みの種です。

山田…コロナ禍で自治会でも組会議を含めた末端活動が殆どで出来ていない。西柴団地は小さい塊のコミュニケーションが不足している。この辺を自治会としても盛り上げたいですね。

司会…組懇談会の活性化は積年の課題。

全員が興味を持つ共通の課題が、“ゴミ置き場問題”を除くと意外に少ないので、実施には大変なエネルギーが必要なのが実態です。ところで昔はもう少し老人会の活動が、地域内で見えていたような気がするのですが

太田…15年位前までは老人会に“全国一斉清掃の日”があった。10年位前までは公園清掃をやっていたが高齢化で消滅、公園愛護会に引き継いだ。来年度は浜ロードサポートに参加を検討したいと

思っています。

山田…活動が周りから見えるというのはとても良い事ですね。

太田…草取りをしていると声を掛けてくる人もいますしね。阿部さんからご意見を伺いたいのですが

阿部…ポッチャで年寄りと子供が和んでいるのであれば、定期的に大会をやったらどうですか？もっと計画的にやる必要があるんじゃないでしょうか。それと世話をするのに、遣り甲斐意識を持たせることが重要ではないですか。さくら茶屋でも腰の痛い人、足の悪い人がいますが、お客様に喜んでもらうことが生き甲斐になって、腰や足の痛みも克服できるんですよ。人のためになる、役に立つ、感謝されることが健康を作ることになる。それが分かれば参加してくれる。出来るだけお世話する側に回る、そうした循環を作るべきだと思います。今一年寄りには文章は3行が限度ですね。広報は写真と短い文章が大切です。司会…さくら茶屋の広報誌の紙面構成は文字が少なく写真が多く旨くできていたね。読み易く関心を持ち易い、自治会だよりも工夫が必要ですね。

太田…福寿会の活動を目に見えるようにするヒントがありますか？

山田…やっぱり広報活動でしょうね。道路清掃などの活動も現場を見た人にしか分からない。会報などに活動内容を掲載することにより、時間は掛かっても徐々に理解されるんじゃないですか。

阿部…福寿会が単独で活動するのではなく、他の団体例えばさくら茶屋と一緒にやる、他で頑張っている団体と交流することで相互理解が深まる。内部だけの情報交流ではなく、もっと幅広く共通項を作っていくことが大事ではないですか。

下村…もっと別の会と意見や活動の交流をすることですね。それと皆が来易い自治会館、行ったらいつも何かやっている雰囲気はほしいですね。今はコロナで何もかも無くなり、葬式でさえも簡素になり過ぎていますが、コロナ禍が終わればよくなるんじゃないかな。

山田…何かをやるうとする時にコロナが逃げ道になってはいけない。今年のラジ体操も反対論が多かったのですが、責任は私にとり、子供たちが喜ぶならやろうと結論を出し、結果は子供大人共に大変喜んで貰えた。態勢は整えるにしても

必要以上に後ろ向きになってはいけないと思います

下村…私もそう思います。私の絵の団体は一回休んだだけでずっとやっています。

近藤…今は個人主義が行き過ぎて、組織を纏めていくのが大変ですね。第一歩として隣近所と仲良くする、誘い合って初めて参加者が増える。以前の会長の宮川さんが残された資料を見ると、その頃の会員数も今と同じ100名ちょっとですね。その時々の方長にとって会員100名の壁のプレッシャーは大変なものです。

太田…今まで一番多かったのが5年位前の143名、その後2021年の総会時には98名に減少し、現在は漸く120名に戻しました。

司会…賽の河原みたいなもので増やしても、増やしても亡くなる人、施設入所する人等で減少も激しい、すると太田さんが頑張る。(笑) コロナの危険性はあるものの太田さんの気合いで、他の団体に比べると会合もしっかりやってきたと思います。組織を支える基本要素は二つある。一つ目は数の力、組織の財政基盤で

もあります。次に人的活動力ですがこれも数の基盤から生まれてくるものです。

従って組織維持には参加人数を支え、増やすと言うことが最大の課題だと思います。現在福寿会会報は会員のみのクローズ情報ですが、時々地域情報として発行し、認識度を上げて行くと言うのはどうなんでしょうか。

石井…取敢えず会報を掲示板に貼ってみるのはどうですか。見る人に福寿会がどんな行事をやっているのか分かります。旅行があるなら参加してみようかとなればそれもOK

太田…自治会の広報誌にミステリーツアーの案内を出したけど、全く申し込みはありませんでした。

石井…諦めない！(笑) 自治会の広報は字なのでプリントを掲示すると、福寿会がやっているという理解できると思います。

成澤…そうするともう一枚掲示板用を、作らなければなりませんよね。手間がかかりますね。

山田…同じものでいいんですよ。あれとこれがどっかで繋がった時により理解できますよ

石井…第一段階は取敢えず貼っておく。そうすると何これと言う人が出てくる、話してくれば宣伝になる。先ずは興味を引くことが大事。次にカラーコピーにする。二重三重にやる。例えば四角い紙面を魚の形にするとか、案外目を引くものなのですよ。

太田…どこかでさくら茶屋のような広報誌を、作ってくれるところがありませんかね。

石井…そんな難しいことは言っていないよ。今のプリントを色紙に貼って出すとか、そのレベルを言っているのです。作り直すのはその次の段階、先ずは人目を引くことが必要。その次の段階でポスターを作ったりとなるでしょうね。

太田…福寿会の会報は記事が無いんですよ。でも一回やってみましょうか？

司会…福寿会の活動を知ってもらい、関心を持ってもらうだけでも良いじゃないですか。掲示板は意外と見る人が多いですよ。福祉サービスマスや生涯学習は自治会広報とは別に、毎月独自資料で掲示板を利用していますね。福寿会も貼ったら存在感が出ますよ。それと福寿会の情報が会員の中だけで回っているのでは会員が

増えようもない。地域所帯は約1800戸、高齢者は多分1200人以上はいる筈です。今の組織率は10%未満、全国組織率15%に遠く及ばないのが実情です。先ずは福寿会の存在を知ってもらいましょうよ。

山田…先程の形を変えと言うのはとても良いことで、四角が丸くなったり、五角形になったりするとそれだけでも人間の興味を引くと思いますね。目線が行き易いでしょね。

阿部…閲覧板の利用はどうですか。その方が効果はありそうですね。両方やれば良いですね。それと“福寿会カラー”を決めたらどうですか？

太田…増員ばかり考えると、今の会員から不満も出てくる危険性がある。先ずは温かみのある会にしたい、会に出席して『楽しかったわ』の声を大事にしたいと思っています。

阿部…確かに楽しいことが基本でしょうね

司会…未加入の山田さん、阿部さんどんな福寿会だったら入りたいと思われませんか

山田…太田さんからお誘いをいただいて

おり、加入することは構わないのですが、やはり楽しいと良いなと思います。福祉に関連することと言えば、何かをしてあげて喜んで貰えたと言う成功体験、達成感が大事だと思います。広報誌には成功体験を記事にしたら、読んだ人の心が動くのではないですか。

司会…福寿会運営で大切なことは①楽しい事と②人に役に立っていると言う手応えですね。

山田…自治会も同じで退会希望者を止められないのはコマース不足もありですね。

阿部…福寿会なりの役割は地域の中で、色々あるのだらうと思います。しかし私は今のところさくら茶屋の活動に注力しており、地域の人たちも喜んでくれているので、その活動を延長しなければと思っています。

司会…さくら茶屋は地域福祉の面では大変貢献度が高いですが、一方でお楽しみのな活動もきめ細かくやっていますね。福寿会がそれと張り合う必要は無いけれど、裾野の広さを生かして幅広く浅く活動する何かがあると良いですね。それと将来に継続する若い会員が必要、先ず年

配者の面倒を見ていずれ若い人に面倒を見てもらう、そうした循環の風習が欲しいですね。

太田…福寿会が麻雀を始めて10年になります。あちこちの老人会では以前から認知症予防に健康麻雀をやっていました。が、会館使用に当たっては自治会役員の無理解と、不健康なサラリーマン麻雀イメージで反対されました。賭けない・飲まない・吸わない3原則の健康麻雀を理解して貰い説得する苦労もありました。

山田…海外ではシニアの麻雀は結構盛んなですよ。それも生活がきちんとされた人達が、お茶会の代わりにやっていますね。

司会…健康麻雀協会ではルールを易しくし、最近では区役所や地域社協が音頭を取って、シニアの麻雀クラブを発足させています。私もコロナ禍の2年ほど前から小柴の老健施設“ふるさと”で、泥亀ケアセンター主催の30人程の健康麻雀に参加していました。今や公が認知症予防のために麻雀を推奨している時代です。それでは最後に纏めのご意見を伺います。

阿部…この地域では各種団体がダブって

色々なことをやっていますが、もう少し効率的に纏められないですかね。今後の課題ですが、町全体の事を考える協議会的な組織があつてしかるべきですね。今回の座談会をきっかけに発展出来たら良いですね。

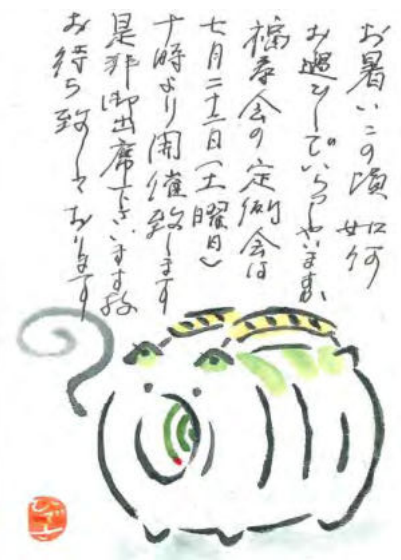
太田…他団体とコラボするのは賛成ですね。共催すれば予算も取れるので、名を通った良い先生が呼べると参加者も増えますしね。

司会…教養も大事ですが高齢者にとつて、とても切実・現実的な話題、例えば葬式、相続、高齢者人居施設などの説明会・勉強会ならば講師は無料で頼めるし、役に立つと思います。福寿会の裾野を広げる為にも日常参加の超高齢者よりも、特にこれから入会して欲しい若手高齢者層には関心が深いと思います。

丁度定刻となりました。本日は外部の見識者もお迎えして、編集委員共々福寿会の将来の在り方につき議論をいただきました。的確な方向付けは今後の課題ですが、ヒントは得られたと確信します。今後の福寿会運営に生かして行きたいと思っています。ありがとうございました。

(文責) 幹事 早川

友愛委員の活動



福寿会音頭

1 ハア―歌をうたえば心もはずむ

老いも若きもほがらかに

さ―さ歌お―よ 国の唄

みんな楽しく みんな楽しく 福寿会

2 ハア―歌をうたえば人の和出来る

歌は心の友だもの

さ―さ歌お―よ 輪になって

みんな仲間だ みんな仲間だ 福寿会

3 ハア―歌をうたえば病も知らず

心すこやか元気よく

さ―さ歌お―よ 手を打って

みんなの会だよ みんなの会だよ 福寿会

編集後記

五十周年記念誌の編集に際し長い歴史を振り返ると、設立以来の歴代の会長を始めとした世話役の方々のご苦勞が偲べれます。変化する環境や社会情勢の中で会員の期待に応え、福寿会を維持・発展させるために工夫をし、日常活動をされてきた皆様方に感謝を申し上げます。

近年コロナ禍にあつて活動にも制約がかかり、会員の期待にも応え難い側面もありますが、多世代交流など地域の要請や期待にも添い、少し若い世代の高齢者が積極的に参加し、役割分担をしていただけるような、存在感ある福寿会として永続的発展をするように願います。

編集に当たり西柴団地自治会の皆様にご協力をいただきましたことに御礼申し上げます。

ご一読の上、感想をお寄せください。

編集委員 石井 邦子・太田 益子

近藤 芳雄・下村 清則

成澤 敏子・早川 守正

『西柴団地福寿会五十周年誌』

発行日 令和5年1月28日

発行者 西柴団地福寿会

編集 福寿会五十周年誌編集委員会

協力 西柴団地自治会

印刷 株式会社プリントパック